

発議案第44号

秋葉就一市長に対する辞職勧告決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成26年11月27日

八千代市議会

議長 坂本 安 様

提出者	八千代市議会議員	松井秀雄	印
賛成者	八千代市議会議員	横山博美	印
	同	江野沢隆之	印
	同	林利彦	印
	同	西村幸吉	印
	同	海老原高義	印

提案理由

秋葉氏に対し、市政の停滞を脱するために市長の職を即時に辞することを勧告する。

これが本案を提出する理由である。

秋葉就一市長に対する辞職勧告決議

議会は、秋葉氏が平成25年5月26日の市長就任以降、市民を欺き、市政を停滞させ続けたことについて指摘し、秋葉氏に対し、市政の停滞を脱するために市長の職を即時に辞することを勧告する。

記

1. 市民を欺くことで信頼失墜を招いた秋葉氏の政治姿勢

秋葉氏は、「新川計画から子育て・教育へ」との新川周辺地区都市再生整備計画の中止ともとれる選挙公約を掲げ、市長に就任した。しかしながら、就任当初から市民に対し真摯な説明をせず、前市長時代に策定した計画どおりの事業執行をしている。かかる政治姿勢について議会で問われた秋葉氏は、新川箱物計画の凍結・中止という言葉はマニフェストビラでは一切使っていないと、市民には到底理解できない答弁を繰り返している。秋葉氏は、自身の一連の言動が市民を欺くことと、それによって市民との信頼関係が既に崩れていることを十分理解しなくてはならない。

2. 副市長不在における無計画な市政運営

本市は、前副市長が辞任した平成25年7月5日以降、副市長不在という異常事態にある。しかも、現在まで市長から議会に対し、一度も選任の提案すらされていない。このような異常事態の中、予算の裏づけもない場当たり的な施策がなされている。その象徴が事業仕分けである。

本市の事業仕分けは、全庁的に職員の動員を図るものにもかかわらず、実施要綱もなく、予算措置も予備費の充用という無計画なものであった。また、実施日が11月1日、2日と定例会直前の時期にあり、議会对応と同時並行で当該業務をこなさざるを得ない職員にとって過度な負担を負わせ、逆に時間外勤務手当を増加させる結果となった。さらに、仕分け結果を予算要求に最大限反映させるとのことだが、予算要求の締め切りまで5日間ということから結果の十分な精査が行われず、拙速な事業廃止が行われる懸念もある。かかる無計画行政を議会が放置することになれば、さらなる市政の停滞を招き、市民サービスに影響を及ぼすことは必至である。

3. 議会軽視の秋葉氏の政治姿勢

議会はさきの9月定例会において、市内における用地選定委員会の設置の提言を盛り込んだ、本市内での第2斎場建設に向けた市長の最大限の努力を求める決議を可決したところである。ところが、いまだ委員会の設置がなされていないばかりか、四市複合事務組合議会議員でもある秋葉氏は、11月25日に開催された臨時議会において、習志野市内での第2斎場建設に向けた調査費を盛り込んだ補正予算案に対し、本市議会選出の議員が反対する中、賛成の態度を示した。全く議会の決議を無視したもので到底容認できないものである。

また、秋葉市長の人事・採用発言に関する調査特別委員長報告に応じた発言は、質問を聞き間違えたことに対する謝罪のみに終始しており、かねてより申し入れをしていたコネ人事・コネ採用の有無についての宣言も、自身の言動が市民に誤解を与えたことについての謝罪も一切なく、真摯に責任を取ろうという態度はついに見られなかった。

秋葉氏が市長にとどまる限り、議会との信頼関係を築くのはもはや不可能である。

以上、議会は3点を指摘し、市政の停滞を脱するためには即時、秋葉氏が市長の職を辞すべきと考え、決議する。

平成26年11月27日

八千代市議会